

# Mémoires 2022

## 第52回 高松宮記念(GI)



### 幾重にも「初」が重なって ナランフレグ

馬人もG I 初制覇。8番人気の伏兵が、最内を突いて大混戦を制した。

前年の覇者ダノンスマッシュは引退、スプリンターズS勝ちのピクシーナイトも怪我で不在の中、1番人気に推されたのは、その両レースでもともに2着のレシステンシアだった。新コンビの横山武史騎手を背に逃げるレシステンシアを、オーシャンSを制してきたジャンダルムが2番手で追う形でレースは進む。シルクロードSを勝利して2番人気に支持されたメイケイエルは中団からとなった。

直線は前の2頭に後続が迫り、大混戦となる。最後にぐいっと抜け出したのは、内から馬群を割ったナランフレグだった。重賞未勝利、G I 初出走の6歳馬で8番人気に甘んじていたが、前走のオーシャンS2着など近走は堅実な追い込みを披露。この日もいつも通り後方で脚をため、直線で内を突いて鋭く伸びると、5着までがクビ、ハナ、クビ、クビという大接戦を見事に制した。

馬がG I 初制覇なら、鞍上の丸田恭介騎手もデビュー16年目でこれが初のG I 勝ちだった。馬上で涙を流し、インタビューでも「最後、直線で抜けたときは……嬉しかったです」と声を詰まらせた丸田騎手。管理する宗像義忠調教師もまた開業30年目でのG I 初制覇で、その宗像厩舎にはデビューから約11年間、所属していたこともあり、「先生(宗像調教師)にずっとお世話になっていて、何か一つでも、と思っていたので、こんな大きい舞台で恩返しができる幸せです」と感慨深げに話した。

騎手と調教師だけでなく、生産者の坂戸節子氏も、馬主の村木克成氏もG I 初制覇。これ以上ないほどドラマチックな結末となった、春のプリント王決定戦だった。

#### 第52回高松宮記念(GI)

3/27 中京競馬場 1200m(芝・左)晴・重 18頭

着順	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	調教師	タイム/着差	人気	通過順位
1	ナランフレグ	牡	6	57	丸田 恭介	宗像 義忠	1:08.3	⑧	15   14
2	ロータスランド	牝	5	55	岩田 望来	辻野 泰之	クビ	⑥	7   8
3	キルロード	騾	7	57	菊沢 一樹	田村 康仁	クビ	17	3   3
4	トゥラヴェスーラ	牡	7	57	鮫島 克駿	高橋 康之	クビ	⑦	12   11
5	メイケイエル	牝	4	55	池添 謙一	武 英智	クビ	②	7   8
6	レシステンシア	牝	5	55	横山 武史	松下 武士	1	①	11   11
7	ジャンダルム	牝	5	55	田辺 裕信	栗田 徹	クビ	⑨	10   10
8	エイティーンガール	牝	6	55	秋山真一郎	飯田 祐史	クビ	15	17   17
9	サンライズオネスト	牡	5	57	武 豊	河内 洋	クビ	11	15   14
9	ファストフォース	牡	6	57	柴山 雄一	西村 真幸	同着	16	5   5
11	ジャンダルム	牡	7	57	荻野 極	池江 泰寿	クビ	13	2   2
12	グレナディアガーズ	牡	4	57	福永 祐一	中内田充正	1/2	③	14   14
13	ライトオンキュー	牡	7	57	横山 典弘	昆 貴	1/2	14	3   3
14	ダイアトニック	牡	7	57	岩田 康誠	安田 隆行	クビ	⑥	18   18
15	サリオス	牡	5	57	石橋 脩	堀 宣行	クビ	4	7   5
16	クリノカウディー	牡	6	57	松岡 正海	藤沢 則雄	1 3/4	12	10   11
17	レイハリア	牝	4	55	亀田 温心	田島 俊明	1/2	10	5   5
18	ダイメイフジ	牡	8	57	小沢 大仁	森田 直行	クビ	18	12   11

単勝 ②2,780円 複勝 ②660円 ③420円 ④4,500円 枠連(1-5)4,150円  
馬連 ②-③13,560円 馬単 ②-③34,720円 ワイド ②-③3,490円 ②-④40,170円 ③-⑤28,390円  
3連複 ②-③-④525,080円 3連単 ②-③-④2,784,560円

ハロンタイム 12.1-10.3-11.0-11.0-11.5-12.4  
通過タイム 600m 33.4-800m 44.4-1000m 55.9



#### 優勝馬:ナランフレグ

2016.4.5生 牡 栗毛  
父:ゴールドアリュール  
母:クリースピューティ  
母の父:ブライアンズタイム  
生産:日高・坂戸節子  
馬主:村木克成氏